

持続可能な農と食への展望 ～アグロエコロジーと小規模・家族農業～

日時

2月23日(木・祝)

19:00～20:30
(18:45より入室可)

会場

Zoomによるオンライン開催(参加費 無料 80名)



講師： 関根 佳恵氏

愛知学院大学経済学部教授

<プロフィール>

神奈川県生まれ。高知県育ち。京都大学大学院修了。博士(経済学)。フランス国立農学研究所研修員、国連世界食料安全保障委員会(CFS)専門家、国連食糧農業機関(FAO)客員研究員等をへて、2022年4月より現職。家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン常務理事。近著に『13歳からの食と農』、『家族農業が世界を変える』(全3巻、全国図書館出版賞受賞)(いずれも、かもがわ出版)等。

【セミナー内容】 国連は2019～2028年を「家族農業の10年」と決めました。また、国連や欧州連合(EU)は、持続可能な農と食のあり方として「アグロエコロジー」を提唱しています。なぜ、小規模な家族農業が再評価されているのでしょうか。アグロエコロジーとはどのようなものなのでしょうか。本セミナーでは、こうした問いに答えながら、持続可能な開発目標(SDGs)との関係で方向転換を迫られている農と食のあり方について解説し、各国の法制度や各地の実践例も紹介します。さらに、2021年9月に開催された国連食料システムサミットや2022年7月に日本で法制化されたみどりの食料システム戦略にも触れながら論点を整理し、今後、私たちがどこへ向かっていくべきなのか一緒に考えます。

お申し込み方法

以下のフォームから
事前にお申込みください。

2月20日(月) 15時まで

<https://forms.gle/zxYrzoBMNmZiPd8w6>

開催日前日までに、Zoom参加者用URLをお送りします。

ご質問等がありましたら、下記にお問い合わせください。

セミナー事務局 chigasaki.oh.conlabo@gmail.com



お申込み QR コード

主催：国際婦人年連絡会

<https://iwylg-jp.com/> Eメール：iwylg-i@nifty.com